

平成 22 年 2 月 3 日  
産学官連携推進本部

## 第5回「信州イノベーション大賞」について

2月10日(水)午後2時より、ホテル国際21(長野市)において「信州大学地域資源活用フォーラム」を開催、標記表彰式と公開パネルディスカッション「信州イノベーションのこれから」を開催することにしたので、お知らせします。  
皆様のご参加をお待ちしております(事前登録、無料)。

【日時】 2月10日(水) 午後2時～午後5時

【場所】 ホテル国際21(2階・弥生の間)(長野市県町576 電話 026-234-1111)

【日程】 第1部 第5回信州イノベーション大賞表彰式(午後2時～午後3時05分)

受賞対象者等(別添1参照)

### 第2部 「信州イノベーションのこれから」(午後3時15分～午後5時)

○講演「信州イノベーション大賞～これまでの受賞から見えてくるもの～」(仮題)  
(午後3時15分～午後3時55分)

講演者 大野雄三(信州大学特任教授、元(独)中小企業基盤整備機構理事)

○パネルディスカッション「信州イノベーションの更なる発展に向けてー地域の可能性と未来ー」  
(午後4時～午後5時)

コーディネーター 石川利江 (ISHIKAWA 地域文化企画室代表)

パネリスト 大野雄三(信州大学特任教授、元(独)中小企業基盤整備機構理事)  
瀧内 貫(株式会社コト社 代表取締役)  
新村清志(信州大学客員教授)  
波多腰太(フードコーディネーター、道の駅小坂田公園 支配人)  
吉村幸代(松本市寿台公民館館長)

(敬称略、五十音順)

\*事前に登録すれば気軽に参加(無料)することができます。

### ○本件についての問い合わせ先

信州イノベーション研究・支援センター研究主幹

工学部教授 佐山 浩

(E-mail)hsayama@shinshu-u.ac.jp

(TEL) 026-269-5686

### ○参加に関する問い合わせ先

(TEL) 026-269-5690(新保、小島)

### ①【連携ものづくり賞】

(株)サイベックコーポレーション（塩尻市）、サンエ業(株)（伊那市）、(株)IHI シバウラ（松本市）、  
長野県工業技術総合センター（長野市）

#### 受賞理由

定置型家庭用燃料電池の研究開発を上記4者によるコンソーシアムにより実施。プレス加工技術とメッキの厚さ制御技術の確立により、コスト削減、長寿命化の目処をつけ、従来比 約6割の小型化、1/3の軽量化を実現。

### ②【文化観光交流賞】

高遠ブックフェスティバル実行委員会（伊那市）

#### 受賞理由

日本初の「本の町」の実現を目指し、桜の町として知られる城下町高遠において実施されている。「ブックツーリズム」という日本ではまだ確立していない観光分野に着眼し、「本」をキーワードに地域と連動した小規模なイベントを多数開催。今後のコミュニティ・ビジネスへの展開など、伊那地域の新しい魅力となる可能性大。

### ③【コミュニティ魅力発信賞】

ズーラ（zoola）（諏訪市、下諏訪町、岡谷市、茅野市、富士見町、原村）

#### 受賞理由

諏訪湖と温泉を中心とした諏訪地区の人たちの温かさを体験・体感できる総合プログラム。「諏訪市・下諏訪町・岡谷市」で始まったこの取組に「茅野市・富士見町・原村」が加わり、広域的な取組へと発展。資源の掘り起こしや人と人とのコミュニティを新しい「魅力」として発信。「産業・観光・文化」が融合した新しい「総合的地域おこし」として今後の進化が期待。

### ④【地域チャレンジ賞】

信州大学工学部「team HACILA」（長野市）

#### 受賞理由

信州大学工学部で建築を学ぶ15人の学生で構成。まちづくりグループとのネットワークで長野市内の古い建物のリニューアルや店舗内装などに取り組み、活動の場である善光寺界限など地域に希望や活力を与えている。本取組は、再開発型のまちづくりへのアンチテーゼとして、今後のまちづくりに大きな影響を及ぼす可能性が高い。

## ⑤【環境ビジネス賞】

おひさま進歩エネルギー株式会社（飯田市）

### 受賞理由

2005年に太陽光発電のための市民出資ファンドを開始。このファンドを元に保育園などの公共施設に太陽光パネルを設置し発電事業を展開。太陽光パネルの設置は合計162箇所、発電容量合計は1,281KWに達している（2009年末現在）。これまで、NHK「クローズアップ現代」の「市民のお金が社会を変える」特集の他、経済産業省・NEDOから「新エネ百選」に選ばれるなど各方面から注目を集める。

## ⑥【地域ビジョンソリューション賞】

オーディオバイオグラフィー「羅針盤」＜有限会社ネーブルファクトリーワークス＞（飯田市）

### 受賞理由

長野という地方のフィールドで新しい価値観で時代を先駆ける6人の声を収録したインタビューCD。現代の忙しい生活の中で、ラジオのように気軽に、しかも繰り返し音を聴くことで様々なアイデアに触れられるこのCDで、数多くの企業経営者や指導者が生まれ育っていくことが期待できる。

## ⑦【商店街再生貢献賞】

わちがいく株式会社創舎＞（大町市）

### 受賞理由

空洞化が進む大町市中心商店街で、築130年の古民家を和食店「わちがい」として見事に再生。地元産の水や食材を使ったオリジナル料理や郷土料理、市内3箇所の蔵元の地酒が楽しめるばかりでなく、「大町市」を発信する場、市の観光ボランティアの拠点としても機能。

## ⑧【ゴミ再生・ユニーク賞】

河童の涙＜財団法人自然公園財団上高地支部＞（松本市）

### 受賞理由

上高地に急増する利用者の残した「ゴミとの格闘」の中で生まれた商品。材料は残していった様々な色をした空きビン。それを細かく砕き、水槽の底に敷く砂利として販売。3R（リデュース、リユース、リサイクル）が今日ほど普及していない時代にゴミを資源として活用したアイデアとユニークなネーミングは高く評価される。